指導は愛と根氣で
劣等感につながるもの

児童記録 (15)

始めて絵を習いにくる子どもは第一日の態度で、大体の性格の判断がつくようである。Aという女の子は、お母さんが一人で来たときは話をしてみてこれはうまくいくかどうかなと思つたが、第一日目にはお父さんとやつてきた。なかなかハツキリと話をする子で、これはいいと私は思つた。お父さんと話してみると、たいへん児童画の話をのみ込む理解力と感受力のセンスを持つた人らしいので、私も思わず一時間以上もいろいろと話込んでしまつたが、だんだんと絵を習いにきているうちに、その子ののび方は順調に進んでいる。先日、延命公園の会館で創造美育協会の福岡県支部の総会があつて新聞にも予告をのせてもらつたのであるが、そのお父さんがA子の手をひいて参観に見えた。しばらくしてから動物園に行くのだといつて二人づれで出て行つたのであるが、このお父さんの子どもの育て方というものが感じられて、やつぱりあの子の絵はのびるにちがいないと思つたことであつた。

先生泣かせの子

反対にBという男の子は、第一日目にはモジモジして絵を描こうとしなかつた。第二回目には少しばかり描いたが、それはまるきり今まで絵を描いたことのない子どもの描き方であつた。幼稚園にも行つていないそうで、小学校の一年にこんど行くようになつてから絵を見てお母さんがびつくりして私の所につれてきたというわけであつた。こんな子どもは取扱いに困るのであつて、先生泣かせであるのだが、しかしチューリップとかお人形さんとかばつかり描いて概念画の型に落ちこんでしまつた子どもにくらべると、かえつて指導するのに邪魔がないので楽しみがある。私は年をとつてしまつたら、どうも子どもたちがだんだん親しみを持たないようになつてくるので、美術学校を卒業した若い女の人と共同で、子どもの指導をやつているのであるが、子どもたちは若くて新鮮な感じのする人ならば、無条件で好くものであるが絵の指導には非常に大事な条件である。

下手な落書き時代

それでそのB少年は、この若い先生にたいへん喜びを感じたと見えて、四回五回と来るうちに、今まで絵の描けない劣等感に落ちこんでいた気持が、だんだん消えてきを始めたようである。絵の描けないのを何とも云わないし、いろいろな材料をやつて落書きのようなことをやらせられるので、始めはオズオズして描いていたのが、どんな下手くそな落書きをしても元気づけてくれるのだから、すつかりうれしくなつたようだ。このごろは眼が輝やいてきて、その先生のそばに来てはいろいろと話をするようになつてきた。子どもは一度は必ず下手な落書きの時代を通過せねばならないものであるから、この時代にしかつたり、下手だなどと批判したりしていると、劣等感に落ちたり描かないようになるものである。大人は長い年月を愛と根気とで子どもを見守つてやらねばならない。（家永勝之亮＝社会教育研究所嘱託、土曜会）

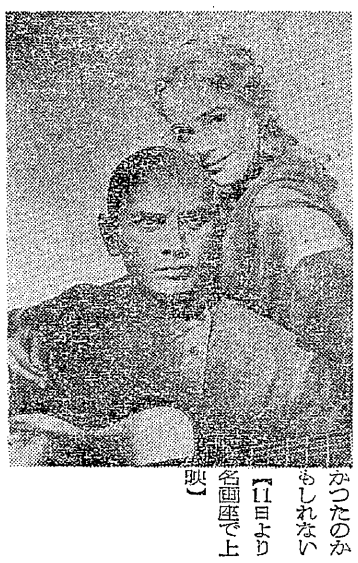
映画
ドストエフスキーの名作小説の映画化
カラマゾフの兄弟

【かいせつ】ロシアの大文豪ドストエフスキー（一八二一―一八八一）の代表的な傑作の映画化。

【ものがたり】一八七〇年、帝政時代のロシアの小さな町リエフスクに、地主フョードル・カラマゾフが住んでいた。裕福だが、老いてますます欲情的なこの男は、いま、この町であまり評判のよくない女グルシエンカ（マリア・シエル）に血道を上げている。グルシエンカは、一緒に飲んだり乱痴気騒ぎをするのは平気だが、フョードルが執拗に食い下つている〝結婚〟の話になると、いくら金を積んでもらうといわない。一人の男に縋られるのが獣なのか、あるいは意中の人がいるのかどちらかなのだ。

フョードルの長男、ドミトリイ（ユル・ブリンナー）は陸軍中尉でこの町の連隊に勤務している。親父に似て極めて衝動的な彼は、一途に燃え上ると自制も反省もできない男である。しかし、親父と違つて、この男の血道を上げているのはトバクだつた。暇さえあると酒場に立籠つて将校仲間や町の見那衆とトバクに耽つているが、だいぶ世間に不義理の借金がかさんでいた。こういう無茶な性格のドミトリイ・カラマゾフ中尉を、連隊長の令嬢カーチヤはかねがね軽蔑している。気位の高いカーチヤにとつて、男はみんな軽蔑すべき不潔なものだつたが、そのうちでも、ドミトリイがいちばん獣のような男だと思つていた。

ところが、その連隊の経理から五千ルーブルの金が紛失した。父の連隊長は、それが発覚すれば責任を問われなければならない。軍人として最大の恥辱たる不名誉の罪に問われるのだ。カーチヤは何とかして父を救いたかつた。そして一人で自分のアパートに来れば五千ルーブル借してやるというドミトリイの申入れを受け入れた。彼は因業な父親から、弟の僧侶アレクセイを通じて五千ルーブルを引き出して待つていた。経理検査で紛失が判明した夜、カーチヤは恐怖に戦きながら獣の前に自らを曝した。しかし、獣は彼女に五千ルーブルをただ与えただけで、優しく帰してくれた。かくも英雄的に振舞うことを、ドミトリイはふとそのとき〝衝動的〟にやつてみたかつたのかもしれない



【11日より名画座で上映】

囲碁教室 (58)
秀策流の布石 12

17図、白8が一路狭い四間ビラキなら、白からの11の点へのカケはそれほど恐れません。従つて黒は右下隅を手抜きして、左下隅をシマるか左上隅に力カつてゆくことになります。図は左下隅を9と一間にシマつた場合の構図です。

黒9とシマれば白10のシマリが残る最大の着点です。

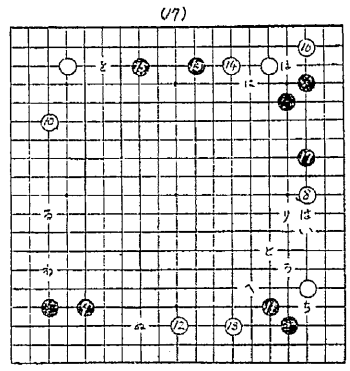
次に黒11とコスんだのは、白を補強して白からの手段を封じカケを防いでおり落付いた手です。

黒15は局中最大の要点で、次にほとコスミツけて隅を守りつつ白を攻めようとします。従つて白16は当然です。すると黒も17と守つて次にいの打込みを狙います。

本局の布石は白18の次に黒いと打込み、白ろ、黒へ以下いろは順にわまでとなりました

橋口　初義
境　敬一

(17)



―日本昔ばなし―
鬼のむこ

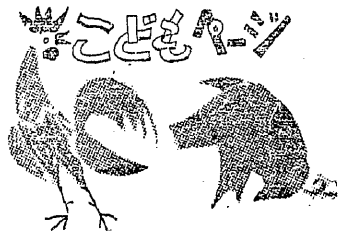
むかし、あるところに三人の娘がいました。姉の名は「あわめんかしら」といい、末娘は「おとまだるかな」といいました。

ある日、娘の母おやがはたけにでてはたらいているうちに、雨がおおぶりになり、小川は大水がでてかえれなくなりました。困りはてていると、鬼がやつてきて「どうしたのだ」とたずねました。

「川をわたれないで困つています」というと、鬼は「よし、わたしてやろう。そのかわりお前の娘を一人おれのよめによこせ」といいました。母はしようなく「おー」とこたえました。母をむこう岸にわたしてから鬼は「いつか雨のふる日に娘をむかえにいくからないな」といいすててわかれました。

母はしおれてかえりました。あまりげんきがないので、長女のあわめんかしらは「どうしたの母さん」とわけをたずねました。母はその日のできごとをのこらず娘たちにはなしてきかせました。そしてあわめんかしらにむかつて「ほんとうにすまないが、母のことをおもつて、よめにいつてくれんかな」とたのみました。あわめんかしらは「くそくれ」とどなりつけました。母はしかたなく、次女にたのみました。次女もおなじへんじでした。さいごに末娘にたずねました。おとまだるかなは「お母さんがいわれるなら、よろこんで鬼のところへも行きましよう」としようだくしました。

やくそくの日に鬼がやつてきました。雨のしくしくふる日でしたところが、その日もまた途中の小川がこうずいでした。鬼はおとまだるかなをだきあげ、川をわたりはじめました。むこう岸につこうとするところで、鬼ははやせに足をふみはずしてつまづきました。おとまだるかなは、そのひようしにうまく岸にとびあがりましたが鬼ははやいながれにおしながされてふかいふちにまきこまれ、死んでしまいました。



おとまだるかなは、さいなんをのがれて、岸でどきまぎしていると、そこにあじがなし（殿さま）がきました。そしてことのしだいをきいてたいそうかんしんし、わたしのよめになれといいました。

あじがなしのよめさんになつたおとまだるかなは、この世でのはなやかなくらしをすることになりました。こころのやさしいおとまだるかなは、母おやに知らせて安心させてやりたいとおもい、あじがなしからひまをもらつて里にかえりました。

里にかえつて、これまでのことを母親にしらせると、たいそうよろこびました。ところが、そのはなしをきいてしつとした姉のあわめんかしらは、おとまだるかながかえる日、途中までおくるといつて一しよに家をでました。そしてあじがなしのやかたの近くにある泉のところにきたとき、姉は妹をうしろから泉につきおとしてところしてしまいました。それからおとまだるかなのきものをはいで、じぶんのときかえ、おとまだるかなになりすましてやかたにかえりました。

よくあさになりました。あわめんかしらは水をくみに泉にいきました。ところがころされたおとまだるかながうなぎになつて、あわめんかしらが水をくもうとすると泉の中であばれて水をにごしました。それをきいてあじがなしがでかけてみると、泉の水はきれいにすんで、中に大きなうなぎがよこになつていました。なにもしらないあじがなしは、うなぎをとつてりよりをさせ、食べようとすると生にえで食べられません。そこで女にこごとをいうと、ちやわんの中のうなぎのあたまが「にえているか、にえていないかわかるあなたが、どうしてじぶんのつまがかわつているか、いないかわからないのですか」といいました。

あじがなしは、はじめてほんとうのことがわかり、たいそうかなしみました。いまでも生にえの料理をあじがなし料理というのは、こんないわれからだそうです。

（おわり）

六月のこよみ
時の記念日

時の記念日は、国民に日常生活で時間の正確を守らせ、時間的観念を深めようという催しで大正九年六月十日以来、毎年行われている西洋の古いコトワザにも「時は金なり」といい、エリザベス女王は「一分間百万円も惜しからず」といい、エジソンは「時は絶対に金銭で買えない」と名言を吐いているまた海洲明は「歳月人を待たず」と教えている。時の観念についてこんな逸話がある。ベンジャミン・フランクリンが出版屋を経営していた時分、一人の紳士が一冊一ドルの本を買おうとして、しきりに値切りはじめた。

「当店では定価通りの規定で、何とおつしやつてもお引きすることはできません」と断つたが、客はなおもがんばりつづけて負けろ負けろと三十分ほども動かない。そこでフランクリンは「それでは一ドル二十五セントいただきましよう。その上なおも負けろ負けろとおつしやるなら二ドル、あるいは三ドルになるかもしれませんよ。あなたも紳士なら時間の尊いことはよくご存知でしよう。おたがいにこんなムダなかけひきで損をしたくはありませんからな」といつたので、その紳士は頭をかきながら、一ドルの本を一ドル二十五セントで買つて急いで店頭を去つたということである。

〈保健〉
食中毒の原因と予防

食中毒にはふぐ、ソラニン、緑青などの毒物によるものと、細菌によるものとあります。細菌中毒には、食物が菌で汚染され毒素を作るために起る毒素型（ぶどう状球菌、ボツリヌス菌）と菌の伝染によつて中毒を起す感染型（サルモネラ型）とあり、また腐敗菌によつて腐る中毒があります。

◈ぶどう状球菌＝この菌は料理人や病人の手などから感染し、肉、魚、大豆などの窒素化合物を沢山含んでいる食物に繁殖し易く、ちよつとした熱くらいでは毒素は消えません。煮されると二時間から五、六時間で発病し、吐気、腹痛みがあるが下痢はあまりなく一、二日で治ります。

◈サルモネラ菌＝家畜やネズミ、油虫によつて汚染される感染型の細菌、蒸子や魚はこの菌が繁殖し易いので特に注意が必要です。これにかかると早くて十二時間から一昼夜たつて発病し頭痛、吐気、下痢を催し、熱は七度ぐらいで二三日たつと治ります。死亡率一％くらい。

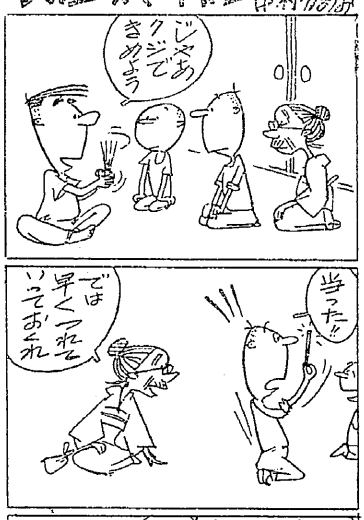
◈手当と予防＝以上のような症状が現れたら下剤をかけ二、三日様子をみればよいのですが、原因が食中毒かどうか判らないときには医師の診断を仰ぐべきです。予防の第一は食物が菌に汚染されぬこと、そのためには台所はいつも清潔にし、ネズミや油虫に荒らされたいようにする。食器の消毒はもちろん、調理前に手を洗うことを必ず実行しましよう。

食中毒菌は伝染病菌と違つて、汚染されても沢山繁殖しないかぎり発病しませんから、繁殖を防ぐのが第二の注意です。台所の風通しをよくし、ザル、おひつ、ふきんを熱湯消毒して、いつも乾かしておきましよう。くず物をためておかぬこと、味を濃くしておくのも菌の繁殖を防ぐ一つの方法です。加熱すれば殆んど大丈夫ですが、料理したらすぐ食べるようにします。お弁当には特に注意したいものです。

六月の生活のメモ

▽十一日は入梅です。梅雨ともなればほとんど一カ月じめじめした日がつづきます。それだけに食中毒など特に注意したいもの。食物を扱うときは手のよごれに十分気をつけ、幼児をエキリから守るためにも、食べすぎ寝冷えに用心して下さい。

▽お天気のよい日には家中開け放してよく風を入れ、畳もふいておきます。台所の流し、下水、便所などはふだんよりいつそうていねいに掃除し、ときどき殺虫剤をまいておきましよう。食器戸棚のようなかびやすい場所は、二％の重曹水で拭くと数日はもちますし、千倍の逆性石ケンを使つてもよいでしよう。

今週の映画

○大牟田名画座（4―11）炎の人
ゴツホ、少年は知つている
○銀星（4―9）ピラミツド、実演
○セントラル（31―10）愛情の花咲く樹、白夜
○太陽館（4―13）結婚のすべて
太鼓叩いて笛吹いて
○大天地（4―10）ボロ家の春秋
火の玉奉行
○新世界（4―13）太鼓叩いて笛吹いて、結婚のすべて
○荒尾名画座（4―10）炎の人ゴツホ、死のとりで
○富士（4―7）女王蜂、悪魔の爪痕
○シネマセンター（2―6）連発銃は知つている、パリ謎珍道中